

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/02/21号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## イラン核協議進展で高値更新後に軟化

NY原油先物相場は、1バレル=90ドル台でやや上値の重い展開になった。ウクライナ情勢に対する警戒感が維持される中、2月14日の取引では95.82ドルまで値上がりし、2014年9月以来の高値を更新した。その後もウクライナ情勢に対しては高いレベルの警戒感が維持されているが、イラン核協議の進展が報告されると利食い売り優勢の地合に転じ、一気に90ドル水準まで値下がりしている。高値波乱の展開が続いている。

米務省のプライス報道官は2月16日、イランとの核合意の再建に向けて「最終段階」にあることを報告している。イラン側の交渉担当者も、かつてなく合意に近づいていることを報告している。まだ最終合意には達していないが、既に最終合意案に近い合意文書が作成され、詰めの協議が行われている模様だ。イラン核合意の立て直しが実現すると、日量100万バレル超のイラン産原油の追加供給が可能とみられるだけに、ファンドの買い玉整理の動きが活発化した。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (2月11日時点) は、原油が前週比112万バレル増、ガソリンが133万バレル減、石油精製品が155万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## ウクライナ情勢とイラン核協議の見極めで、高値波乱の展開

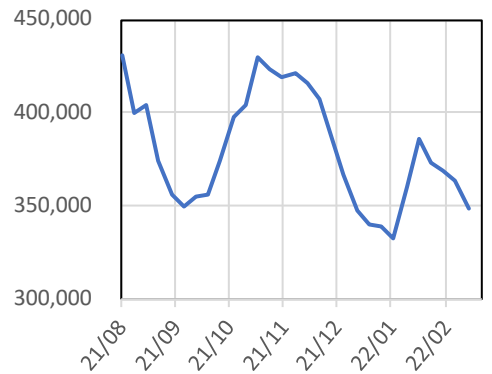
「ウクライナ情勢」と「イラン核協議」の二つの地政学リスクが同時にクライマックスを迎えており、高値波乱の展開が続き易い。ロシアのウクライナ侵攻があれば急伸、イラン核合意の成立があれば急落するリスクを抱えている。2月22日に3月限が取引最終日を迎えることもあり、上下双方に高ボラティリティ環境を想定しておく必要がある。ただ、現状では需給ひっ迫評価から本格的な値崩れまでは要求されづらく、瞬間的な急落局面での物色妙味は維持されよう。

ウクライナ情勢に関しては、2月24日に米露外相会談が予定されている。バイデン米大統領は2月17日、「数日以内」にロシアのウクライナ侵攻があり得るとの見方を示しているが、外交的な手段で緊張緩和が実現するか、ロシアのウクライナ侵攻が始まるのか、引き続き日々の動向に一喜一憂する展開が続く見通し。前週は、ウクライナ国内で同国軍と親露勢力との衝突も報告されており、仮にロシアのウクライナ侵攻が始まると、瞬間的な急伸の可能性もあり得る。

一方、イラン核合意については早ければ今週中に合意に達する可能性がある。Reutersが報じている草案だと、核合意は段階的なものになり、第一段階でイランのウラン濃縮停止、イランに対する金融資産凍結の解除などを行い、その履行状況を確認した後に石油分野の制裁を解除する予定になっている。このため、直ちに国際原油需給に与える影響は大きくないとみられるが、仮にイラン産原油の市場復帰の可能性が強く警戒される状況になると、瞬間的な急落の可能性もある。

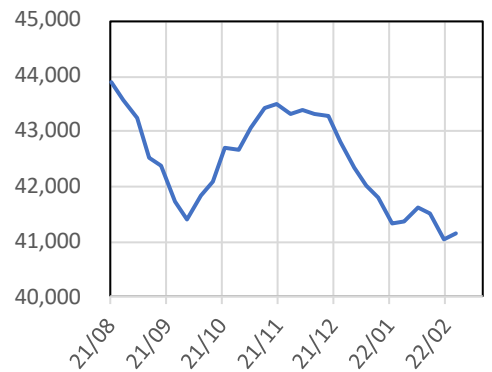
二つの地政学リスクを抱え、一方は買い材料、他方は売り材料になっていることが、複雑な価格形成を迫る見通し。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



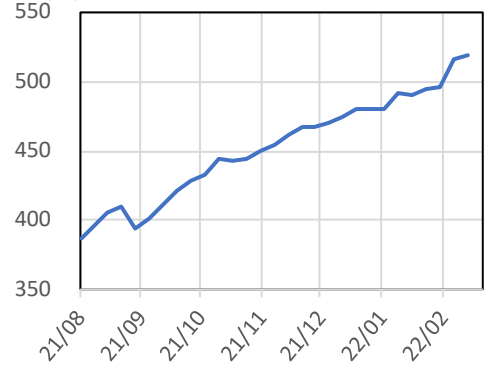
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

